

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公表番号】特表2012-500320(P2012-500320A)

【公表日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-523832(P2011-523832)

【国際特許分類】

C 08 F 10/06 (2006.01)

C 08 F 4/653 (2006.01)

【F I】

C 08 F 10/06

C 08 F 4/653

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月22日(2012.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロピレン及び任意的に少なくとも1つの他のオレフィンを、気相重合条件下、第1の重合リアクターにおいて触媒組成物と接触させることを含み、ここで、前記触媒組成物が、プロ触媒、助触媒、及び、第1の選択性制御剤(SCA1)と、第2の選択性制御剤(SCA2)と、活性制限剤(ALA)とを含む混合された外部電子供与体(M-EEP)を含み、

ASTM D1238-01(230、2.16kg)に従って測定されるときに約100g/10分を超えるメルトフローレートを有する活性なプロピレン系ポリマーを第1の重合リアクターにおいて形成すること、

前記活性なプロピレン系ポリマーを、重合条件下、第2のリアクターにおいて少なくとも1つのオレフィンと接触させること、及び

約60g/10分を超えるメルトフローレートを有するプロピレン耐衝撃コポリマーを形成することを含む重合方法。

【請求項2】

混合された外部電子供与体(M-EEP)、第1の選択性制御剤(SCA1)、第2の選択性制御剤(SCA2)、活性制限剤(ALA)及びそれらの組合せからなる群より選択される成分を前記第2のリアクターに導入することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記活性なプロピレン系ポリマーをプロピレン及びエチレンと接触させること、並びに、約5wt%～約50wt%のFc値及び約20wt%～約90wt%のEc値を有するプロピレン耐衝撃コポリマーを形成することを含む、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

重合条件下、重合リアクターにおいて、少なくとも1つのオレフィンを、ASTM D-1238-01(230、2.16kg)に従って測定されるときに約100g/10分を超えるメルトフローレートを有する活性なプロピレン系ポリマーと接触させること、及び

約 8.5 g / 10 分を超えるメルトフロー レートを有するプロピレン耐衝撃コポリマーを形成することを含む重合方法。

【請求項 5】

ASTM D-1238-01(230、2.16 kg)に従って測定されるときに約 100 g / 10 分を超えるメルトフロー レート(MFR)を有するプロピレン系ポリマー、及び

前記プロピレン系ポリマー内に分散されるプロピレン / エチレン コポリマーを含み、約 60 g / 10 分を超えるメルトフロー レート、約 5 wt % ~ 約 50 wt % の Fc 値及び約 20 wt % ~ 約 90 wt % の Ec 値を有するプロピレン耐衝撃コポリマー。